

そう だい
総 題 「主のために管理する」

だいしゅういち か こんなん じ だい かん り
第 1 1 課 困難な時代に管理する

ひらもと あきら
平本 光

いち あんそくにち ご ご こんしゅう
1. 安息日午後 今週のテーマ

※1 世界の経済状況の不確かさに多くの人が不安を感じています。

しょうひん ね だん たか ひつよう かんたん て はい ひと
商品の値段が高くなっていったり、必要なものが簡単に手に入らなくなったりと、すべての人にとってわかりやすく問題があることに気づきます。このような中で多くの人が不安を抱えています。

※1 経済が不確実であるとき、私たちが人間の自然な傾向は、なるべくお金を使わないように支出を抑え、資産を節約します。しかし、私たちの考えるべき事は、神が近づいていることを世界に警告する働きをどのようにしていくかという管理のやり方なのです。

このような状況に対して、クリスチャンはどのように※2 適切に対応していくか。それは、これまで以上にキリストに信頼することです。そのために聖書の※3 原則に基づいた私たちが従うべき※4 いくつかのステップについて学んでいきます。

※1 世界の経済状況の不確かさ・経済が不確実：世界中の経済が悪くなっている状態

※2 適切に：クリスチャンとしてふさわしい方法で

※3 原則：基本的な教え

※4 いくつかのステップ：試練の時（終わりの時）のステップを一週間かけて、学ぶことになります。

- ・ステップ1：何よりもまず神様を第一にすること。自分の力ではなく神様に信頼すること。
- ・ステップ2：整理すること（断捨離と言ってもいいかもしれません）。
- ・ステップ3：神様に仕えること。
- ・ステップ4：神様が必要なものを与えてくださるという約束を信じること。

に にちようび なに かみ
2. 日曜日：何よりもまず神を

ヨシャファトは南ユダ王国の王様でアサの子です。彼は紀元前 8 6 8 年に父アサ王の※5 後継者として即位すると、すぐに北イスラエル王国の王アハブと和平を※6 講じ、息子のヨラムをアハブ王の姉妹にあたるアタリヤと結婚させた人です。

歴代誌下では、ヨシャファト王は、特に律法の教育と裁判規則の確立などの※7 政策に力を注いだ人物として紹介しています。またイエス様の系図の中にも登場してくる人物です。

歴代誌下20章の中にある諸原則は、現代の経済危機にも当てはまる問題です。南ユダ王国が
※8 直面したときのように、私たちの※9危機は、私たち自身の生活だけではなく、キリスト教会にも
※10害を及ぼす可能性を非常に高く持っていることを教えています。

ヨシャファト王が国を治めていた時期の終わり頃、ユダ王国は、他国の軍隊に※11侵略されました。
勇猛果敢なヨシャファトは、軍隊を強化し、街のいたる所の要塞化をはかっていました。どんな敵に
も立ち向かう備えをしていましたが、この※9危機に際してヨシャファトは、自分の力を頼みとせず、神
の力を頼みとしました。彼は王としてユダ王国のすべての人々に祈りと断食を呼びかけました(歴代
誌20章3節)。

このようにして人々が神に身を委ねたときに、※12神の霊がユダ王国の人に降り注ぎ勝利を得られる
ようにしてくれました。ユダ王国の男たちは、3日かかって戦利品を集め、4日目には、来た時と同じ
く、賛美しつつ、エルサレムに帰りました。

彼らを救い出された神様は、私たちが愛し、礼拝する神様と同じ神様であり、神の力は今も当時
も変わらず、※13偉大であることが教えられています。私たちにとっての挑戦は、主と主の導きに
信頼することです。

このヨシャファト王とユダ王国の人たちがしたように、主に信頼し、一緒に祈り、仲間とともに主に
信頼して生きていくことが大切です。

※5後継者として即位する：次の王になること

※6講じ：いろいろと考える

※7政策：政治のこれからのこと

※8直面した(する)：とても困ったことが起きた(起きる)

※9危機：悪い結果になるかもしれない、危険で不安な時

※11侵略されました：自分の国の土地を、他の国が入って奪われること

※12神の霊：聖霊

※13偉大である：とても立派なこと

3. 月曜日：自分の力ではなく、神を信頼する

ダビデ王は、困難が訪れたとき、サタンの誘惑に負けて、自分の力と才能に信頼してしまいました。

兵士を数えるのは、サタンの考えであったということに注目するよう教えられています。サタンは
ダビデが、※14防衛のために、神の導きに頼るのではなく、自分自身の力に頼るように※15そそのかしま
した。

イスラエル軍の指導者であるヨアブは、ダビデにイスラエルの民の数を数えないように説得しようと
しましたが、ダビデは、兵士を数えるように要求しました。聖書を読むとわかりますが、ダビデとイス
ラエルの民は、サタンの提案に※16屈したために恐ろしい※17疫病に苦しむことになりました。

きょう わたし 今日、私たちはダビデと※18同じような状況に直面するときに、家庭を経済的に強化するために
おこな かみ まも あた できることを行い、神が守り与えてくださることを信頼するように教えられています。「まず神の国と
かみ ぎ もと 神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう」(マタイによ
る福音書6章 3 3節、口語訳)です。

じゅうよんぼうえい ふせ まも
※14 防衛：防ぎ守ること

じゅうご あいて よ こうどう すす
※15 そそのかしました：相手が、良くない行動をするように、勧めること

じゅうろくくつ さんせい
※16 屈した：賛成した

じゅうななえきびょう でんせんびょう
※17 疫病：伝染病

じゅうはちおな じょうきょう ちよくめん ていあん くつ さんせい おそ えきびょう
※18 同じような状況に直面する：サタンの提案に屈した(賛成した)ために恐ろしい疫病
でんせんびょう くる
(伝染病)に苦しんだこと

よん かようび かんそ とき き
4. 火曜日：簡素にする時が来たのか

クリスチャンは、※19経済危機に際して何をするのでしょうか。生き残りをかけて仕事に本腰を入れますか？
いいえ、むしろその反対です。「この働きが終わる最後の時に、幾千人の人たちが喜んで祭壇にささげるであろう。
ひとびと たましい かみ おお ひ た 準備はたらい
きに参加する祝福された※20特権が与えられたことを感じて、今与えられている資金から、何百ドルと
※21躊躇なくささげるであろう」(『祝福に満ちた生活～スチュワードシップに関する勧告』 4 8ページ)。

せいしょ しん ひと ちじょう ちか さいりん とき も つ
聖書を信じている人は、この地上のすべてのものは、いつか近いうちに、イエスの再臨の時に燃え尽きてしまうということをわかっています(ペテロの第二の手紙3章10節)。彼らは、神の目的のために賢く
かしこ きんせん どうし なん ぜん さば ひ のが 賢く金銭を※22投資し、何らかの善をなし、裁きの火を逃れることになる(副読本 9 8ページ)と
おし わたし けいざいてき せいしょ げんそく まな じっせん
いうことが教えられています。私たちの※23経済的ストレスは、聖書の※24原則を学び、※25実践すること
おお けいざいてき けいげん と のぞ かみ かんこく わたし
で、大いに(経済的ストレスが)軽減し、取り除くことができるということです。神の※26勧告は、私
たちに※27最善の利益をもたらしするために与えられています。

さいがい おお もんだい ちよくめん ひとり たす ふあん ねが
災害や大きな問題に※8直面すると「わたし1人だけでも助かりたい」と不安から願ってしまいますが、
いっぽう わたし たす い み かぞく ゆうじん すく かんが たいせつ
その一方で、「私だけ助かっても、意味がない。家族や友人も救われてほしい」と考えます。大切な
ひと たす わたし も ちから じかん ざいさん かんり たいせつ
人を助けるためにも、私たちが持っている力や時間、財産をよく管理していくことが大切です。

じゅうきゅうけいざい き き せ かいてき お かね うご ふあん ようす
※19 経済危機：世界的に起こるお金の動きが不安な様子

にじゅうとつけん えら ひと あた とくべつ けんり
※20 特権：選ばれた人だけが与えられた特別な権利

にじゅういちじゅうちよ まよ き
※21 躊躇なく：迷わないですぐに決めること

にじゅうにとうし しょうらい かね ようい
※22 投資：将来のためにお金を用意すること

にじゅうさんけいざいてき かね うご かん
※23 経済的：お金の動きに関すること

にじゅうよんげんそく き ほんてき き
※24 原則：基本的な決まり

※ 2 5 実践する：聖書の原則の通りにすること

※ 2 6 勧告：こういうことをする方が良いと説いて勧めること

※ 2 7 最善の利益：最も良い方法で儲けること

5. 水曜日：優先すべきもの

優先すべきものとは、私たちが神の側にいるか、いないか、どちらかを選ぶことだと教えています。私たちがキリストに全てを捧げようとするとき、他のために残すものは何もあります。それが道であり、これこそが道でなければならないのです（ガイド 8 4 ページ）。全心全霊を働きにうちこみ、「わたしの主キリスト・イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに、いっさいのものを損と思」うようであれば、だれも神への奉仕に成功することはできない（ピリピ 3：8、口語訳）とあるように、自分のために少しでも取って置く者はキリストの弟子になることはできないし、ましてや※28 共労者となることはできないのです。

何よりもイエス様に※29 一番価値がある。自分にとって一番大事だと思うならば、キリストがどこへみちびかれようとも、彼らはよろこんで従うことができるのです。この世のものは、毎日、私たちの目の前にあるけれども、世にあるもの全ての誘惑は強く、すぐに欲望を満たしたいという※30 衝動が襲ってくるかもしれません。

キリストの短い※31 警告の背景にはロトの経験があります。イエスが「ロトの妻のことを思い出さない」というみ言葉をお語りになったのは、再臨の備えをする文脈においてでした。この話が私たちに伝えているのは、ロトの妻が振り返って、塩の柱となりました。彼女の心がソドムにあったからです。この話が私たちに伝えているのは、「永遠の命と交換するほどの※32 価値のある人や財産はない」と言うことです。再臨のとき、生きてこの世を去る全ての人は、ロトの妻が直面した時と同じ決断をすることになるでしょう（副読本 9 6 ページ）。自分の持ち物と一緒に地上に留まる決心をするか、それともすべてを捨ててイエスのもとに行く決断をするかということです。

※ 2 8 共労者：同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働く人

※ 2 9 一番価値がある：（イエスさまが）一番たいせつ

※ 3 0 衝動が襲ってくるかもしれません：何かをしたいと強く思い、目的をやり遂げると消える気持ち

ち

※ 3 1 警告の背景：前もって注意を知らせた様子

※ 3 2 価値のある：大切な

6. 木曜日：売ることも買うこともできなくなる時

売買ができないという事は、社会が※33 機能しなくなることを意味します。そうすると、信仰に※34 忠実であり続ける人たちへの※35 圧力が大きなものになるとガイドには書かれています。さらに、金銭を持つ

はおお
は大きくなっていくことでしょう。

くださることを信頼しんらいするように、私わたしたちを励はげますためであったのです。

※ 3 3 機能しなくなる：働かなくなる

※ 3 4 忠実：まごころをこめてよくつとめること

※ 3 5 圧力が大きなものになる：権力・財力・武力などで相手を押さえつけること

※ 3 6 利害関係：互いに影響し合う関係

※ 3 ^{さんじゅうななくしん} 7 確信する：^{かた} 固く^{しん} 信じること

※ 3 8 制定：決まりを定めること

※ 3 ^{さんじゅうきゅうり} ^こ ^こ ^{たにん} ^{じぶん} ^{ゆうせん} ^{こころ} 利己心：他人より自分を優先する心

7. 金曜日：さらなる研究

ですが、^{おお}多く持てば持つほど^も幸^もせというわけではないということのようです。^{しあわ}

満足や幸福を与えて※42 くれるとは限らないようです。だからこそ、私たちは神様が与えてくださること
に目を向け与えられるものをしっかりと管理していくことが大切です。ときに困っている人々に与え
ることが大事かもしれません。だからこそ、什一は特に裕福でない人々にとっても、富の危険に
対する強 力な※43 霊的解毒剤になり得る（ガイド 8 6 ページ）ということも紹介されております。

主を第一として、身の回りの物を管理していきましょう。

※ 4 0 投資：利益を得る目的で事業（会社）などにお金を出すこと

※ 4 1 頑固に： よんじゅういちがん こ 自分 じぶん の意見 いけん や態度 たいど を変 か えな い いで意地 いじ を張 は ること

※ 4 ^{よんじゅうに}2 ^{かぎ} くれるとは限らない：くれるのではない

※ 4 3 靈の解毒剤：心に入^{こころ}った^{はい}毒^{どく}（富^{とみ}に心^{こころ}が奪^{うば}われている^{きけん}危険な^{じょうたい}状態^け）を消^{くすり}す^薬薬